# 令和6年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立岐阜本巣特別支援学校 学校番号 105

## 自己評価

を見直すことができた。

	学校教育目標	校教育目標 ・夢の実現に向け、自ら学び自ら考え、生き生きと豊かに表現できる 徒の育成		
		・自他を尊重し、学校や地域で生き生きと生活できる児童生徒の育成		
		・運動に親しみ、心身ともに健康で、明るく元気な児童生	徒の育成	
	評価する領域・分野	教育活動・学習指導: <u>健康支援</u> (※番号は学校評価のアンケー	- 卜項目)	
		19: 学校は、手指衛生等の一般的な感染症対策を講じるとともに、医療機関と常に連携		
		図って、児童生徒の健康管理に気を配っている。		
	20: 学校は、児童生徒の安全に気を配り、緊急時の対応がしっかりしている。		<b>している。</b>	
	現状及びアンケート	・2項目とも、約9割の高評価を得ている。		
	の結果分析等 ・項目19については、「わからない」が1割あるが、これはコロナカ		れはコロナが5類	
		となったことで、学校から保護者へのお願いやお知らせの機会が減ったこ		
		とが要因となっている可能性がある。基本的な感染対策(手指消毒、換気、		
		咳エチケット等)の取組みは、以前と大きく変わらず継続しているが、伝		
		える機会が減ったために、「わからない」が増えたのではないかと考え		
れる。		れる。		
	今年度の具体的かつ	(1) 一人一人の健康状態の把握に努め、健康安全に配慮し	た教育環境や、危	
るよう支援する。 (2) 安心・安全に給食を食べることがで 食運営を行うとともに、食に関する原		機管理体制の整備と改善を実施し、安心安全な学校生活	を送ることができ	
		(2) 安心・安全に給食を食べることができるよう適切な衛		
		食運営を行うとともに、食に関する啓発活動と、児童生	:徒の障がいの状態	
		や発達段階等を踏まえた摂食支援活動を推進する。		
		(3) 児童生徒の障がいの状態や発達段階を踏まえ、性教育	_ , _ , ,	
	~ L = 1= 2 3 de 15 2 se	健指導を推進し、体力の向上と心身の健康の保持増進を		
	重点目標を達成する	・保健主事、養護助教諭を中心に、管理職や担任、必要に応じて栄養教諭、		
		体育科、看護師、字校医、医療的グブ指導医、字校楽剤 	学校医、医療的ケア指導医、学校薬剤師等と連携する。	
	具体的取組		ルギバーナナル	
	達成度の判断・判定	・健康安全に配慮した教育環境や、危機管理体制の整備と改善ができたか。		
	基準あるいは指標	・児童生徒の障がいの状態や発達段階等を踏まえた「食に	.関うる指导の全体	
	計画」を作成し摂食支援活動を推進できたか。 ・児童生徒の障がいの状態や発達段階を踏まえ、「性教育全体計画」を		5人は計画に たがは	
			生体計画」を作成	
ŀ	 評価の視点	できたか。	評価	
ŀ	① 健康安全に配慮した教育環境、危機管理体制の整備と改善			
③ 「性教育全体計画」を作成でと実践。		A B C D		
ŀ	取組状況・実践内容の成果と課題(○成果・▲課題)		総合評価	
	○迅速な対応ができるように緊急時対応訓練等の研修を行い、職員の対応力向上を			
	図ることができた。	、ティーポット・フィット・フィット・フィット・フィット・フィット・フィット・フィット・フィ		
		数が多く職員の負担になっている。	A B C D	
		る指導の全体計画」や「給食の異物混入の対応マニュアル」		
DELICE ACTOR OF THE CONTROL OF THE C				

○職員を対象とした性教育研修会にて包括的セクシュアリティ教育について学び、 学校全体として「性教育全体計画」を作成することができた。

# 来年度に向けての 改善方策案

- ・緊急時対応訓練等必要な研修は引き続き実施し、救急救命法講習会の対象 職員を工夫することで職員の働き方改革と危機管理体制の整備の両立を 目指す。
- ・「食に関する指導の全体計画」を活用して、系統立てた指導を学校全体で 行う。エピペンの講習等、安全に関する研修を充実する。
- ・「性教育全体計画」を活用して系統立てた指導を行うとともに、熱中症対 策等の安全に関する指導も行う。

### 学校関係者評価 (令和7年2月27日実施)

#### 意見・要望・評価等

・本巣市の給食は、おいしく、食育という視点からも工夫されていると聞く。実際に食べてみたい。 食を通していろいろなことを系統的に学ぶということはよい。